

## 曾我476番地（一部）地区コミュニティ協定

### ○はじめに

曾我地区を通る道道66号は別名“パノラマライン”とも呼ばれ、ニセコの山並み景観を望める道として多くの人々が車やバイクでドライブをしたり、自転車でサイクリングなどを楽しんでいます。私たちの住む曾我476番地地区では、夏には田園風景、冬には雪原が広がり、その奥にはニセコ地区のシンボルともいえる羊蹄山を望むことができます。このニセコらしい景色に、多くの人々がここで足を止めます。通り過ぎた人もわざわざ戻って見たいほど、1年を通して地域の住民だけでなく、ニセコ町を訪れる人々を魅了している景観がここにはあります。

この地域で暮らす私たちは、市街地とは違い、建物が密集せず、適度な距離を保ちながらも、地域住民同士顔の見える関係を大事にしています。また、農村地域の静かでゆとりある自然景観と、自然に寄り添った暮らしを大切に考えています。私たちはニセコの自然や景観を愛し、『不便な暮らしこそ豊かな暮らし』と考え、ここでの暮らしを楽しんでいます。また、準絶滅危惧種のオオジシギの繁殖地であるこの地域は、春になるとオオジシギの独特な求愛飛行が見られ、彼らの飛来によって地域住民は春の訪れを感じています。

この地へ新たに住まう方にも私たちが営んできた日々の暮らしを理解していただき、ともにこの地で『不便な暮らし』を楽しんでいただけることを望んでいます。新しく住まう方、購入される方、訪れる方、全ての方に私たちの暮らしや大切にしていることを理解していただき、私たちの仲間になっていただけることを願っています。

### —協定項目—

#### ○建物について

- ・地域住民もここを訪れる人たちも、みんなが羊蹄山の裾野まで見渡せる美しい景色を楽しめるように配慮して建物を建てる。
- ・住宅などの建物を建てる際は、隣接地から適度な距離をとって建てる。また、既存住民とその配置について話し合い、変更できる余裕をもつ。
- ・自然になじむ色合いで建物を建てる。白や銀色などは光を反射し、自然環境に影響を与え、汚れが目立ち汚らしくなるため外壁には使わない。
- ・お互いが気持ちよく生活できるよう、周りの住宅の景色を完全に遮らないようにする。
- ・建物の配置や外観は隣人からの景色を守るため、事前に相談して決める。
- ・何かを建てる際の高さは周囲にある建物と同程度の高さにし、それ以上に高い建造物は建てない。
- ・携帯電話基地局や鉄塔などはこの地域の景観にそぐわないため、建てない。

#### ○環境について

- ・人工物によって壊した自然を補わないといけないと考えるため、樹木などの植栽を心掛ける。また植栽の際は、近隣の人の景色を遮らないよう配慮する。

- ・自然を大事にするため、敷地内の雑草については化学薬品由来の農薬などを極力使用せず、木酢液やボカシなどを活用する。また景観を保つため、雑草などは適切に伐採し、荒れ放題にならないようにする。
- ・開発などにより準絶滅危惧種になっているオオジシギを守っていくため、繁殖場所として重要な畑地や草地をむやみに壊さない。
- ・アカゲラが降りてこられるよう、既存樹木をできるだけ残し、止まり木となれるような植樹を心掛ける。
- ・生態系や地球環境の要でもある土を大切にするため、むやみにアスファルトを敷かない。

#### ○暮らしについて

- ・美しい景観をみんなで共有し、みんなで楽しむという気持ちをもつ。
- ・顔の見える関係維持のため、住民同士会ったときは挨拶し、気持ちの良い関係づくりに努める。
- ・オオジシギの求愛飛行である雷のような音を楽しむ。
- ・民泊など不特定多数の人が出入りするようなことを行う場合は、事前に地域住民に相談する。
- ・アカゲラの求愛行動であるドラミングを楽しむ。
- ・家の電気は最小限にし、月明かりに浮かぶ羊蹄山や星空を楽しむ。
- ・時には携帯電話など持たずに、自転車や徒歩、冬はスノーシューなどで、周辺の自然の中にある小さな発見や季節の移ろいを楽しむ。
- ・疲れた時は、自然の中にある音や匂いなどを五感で感じ癒される。
- ・人間は自然の中で生かされており、自然の中に住まわせてもらっている、ということを忘れない。
- ・家庭菜園や頂き物で得た収穫物などを周辺へおすそ分けすることを厭わない。
- ・CO<sub>2</sub>排出量を減らしていくことを目指し、ダンプや大型車両など排出量の多い重機に頼らない除排雪を心掛ける。また敷地内または敷地周辺に堆雪場を必ず設け、敷地内に設ける場合その面積は敷地の50%以上を確保する。
- ・ウォーキング・自転車・スキー・雪遊びなど、できるだけ化石燃料を使わず、自然環境を大事にしながら遊びを楽しむ。
- ・雪原につく動物たちの足跡を、どの動物のものか当てて楽しんでもみる。
- ・冬になると訪れるエゾユキウサギを雪原の中から探してみる。
- ・綺麗な空気を保つため、冬場であっても長時間のアイドリングはしない。
- ・積雪期は雪原が広がるこの地域だが、畑や花を植えていたりするので、建物がないからと言ってむやみに知らない土地に踏み入ったり、雪やものを投げ入れたりしない。
- ・カラスや動物たちに荒らされるため、短時間であってもゴミを外に放置したり雪の中に埋めたり絶対にしないこと。タバコも含めゴミのポイ捨ては厳禁。ゴミはニセコ町のルールを守り適切に処理すること。
- ・自分が出したゴミでなくても周辺で見つけたら回収して、適切に処理する。
- ・四季折々に変化する羊蹄山やニセコ連峰など雄大な景色を愛でる。
- ・この地域らしい景観や美しい景観などがどういったものなのかはみんなで考え、話し合うこと。

- ・今ある豊かな自然を今以上に良い形で後世に残せるよう、便利さや快適さや即物的な豊かさだけを求めず、自然に感謝し、すでにあるもので楽しく生活するよう努力する。
- ・本コミュニティ協定に賛同する場合、その意思は家屋・土地の所有者が変更になる場合も受け継がれる。

—協定賛同者—

合計 6 名

—協定作成—

※協定項目に関しては、2年ごとに内容の見直しを行います。